

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(問い合わせ先)
4月 16(火)～ 21(日)	第39回 JRP武蔵野・三鷹支部写真展 第1・2展示室 観覧時間:10:00～18:00(初日は13:00から、最終日は17:00まで)	無料	JRP武蔵野・三鷹支部 0422(48)0161 中村
4月 23(火)～ 28(日)	第45回 三鷹書人の会書展 第1・2展示室 観覧時間:10:00～18:00(初日は14:00から、最終日は16:30まで)	無料	三鷹書人の会 0422(52)0278 野水
5月 14(火)～ 19(日)	彩友会絵画展 第1展示室 観覧時間:10:00～17:00(初日は12:00から、最終日は16:00まで)	無料	彩友会 0422(76)5101 鈴木
5月 15(水)～ 19(日)	墨友会 墨画展 第2展示室 観覧時間:10:00～17:00(最終日は15:30まで)	無料	墨友会 0422(31)8181 中山

4月13日(土)から

本館展示室
三鷹の此の小い家



企画展示

太宰文学と美術のまじわり

太宰文学には美術をモチーフにした作品が多くあります。近年映画化されるなど、特に若年層から支持を得ている「人間失格」の主人公 大庭葉蔵は生計のために漫画を描き、作中にはモディリアーニ、セザンヌ、ゴッホなど西洋絵画の巨匠らの名前も見受けられます。

今や「語りの手」と謳われ、日本近代文学の代表的な作家となった太宰ですが、学生生活を送った青森時代には画業も選択肢の一つとして挙げられたほどの腕前でした。周囲には画家志望の友人も多く、その交際範囲は上京してからも広がりました。

阿部合成に単行本の装幀を依頼することもあれば、友人の画家 久富邦夫をモデルに「ある画家の母」(のち「リイズ」)、天性の画才に恵まれながら自信喪失の果ての女性の末路を描いた「水仙」など、美術を題材にした作品も紡いでいます。

本展では、小館(こだて)善四郎、根市良三、阿部合成、鯨崎(ひれさき)潤、久富邦夫らとの交流をとおして、美術に造詣を深めた太宰の多彩な芸術性に迫ります。自ら絵筆を執った油絵や画家による装幀の初版本はもちろん、一見平面的に捉えられがちな活字の世界に、美術という視覚を交えて立体的に創出された太宰治の世界をご覧ください。

会期：令和6年4月13日(土)～8月18日(日)

休館日

4月 15、22、30日

5月 1、7～9、13、20、23～31日

6月 3、10、17、24日

7月 1、8～12、16、22、29日

8月 5、13日

観覧時間:10時～18時

※観覧無料

小館善四郎「静物画」
制作年不詳 油彩・画用紙
30.0×42.0cm (個人蔵)



・この催し物案内は、2024年3月20日にとりまとめたものです。内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。